

令和7年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立上一色南小学校

校長名 三田 智

名称:総合的な学習の時間

学校の教育目標	・明るくのびのび行動する子ども ・仲間を大切に、力を合わせる子ども ・創造性を生かし、自ら学ぼうとする子ども ・健康な体と強い意志で、ねばり強くやりぬく子ども
---------	--

国が示す総合的な学習の時間の目標
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標
1 全学年を通して交流活動を行い、地域理解やコミュニケーション能力を育てる。 2 身近な環境や生活を振り返り、自ら課題を見つけ、解決していこうとする態度を育てる。 3 友達の考えや参考となる図書の意見と自分の考えを比較し、統合して考えることのできる資質を育てる。 4 自己の課題を意識し、体験活動や調べ学習に主体的に取り組む姿勢を育てる。 5 自己の生活を振り返ることで課題を見つけ、改善しようとする実践する力を育てる。

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにする ・それぞれには特徴があり、多種多様に存在している(多様性) ・互いに関わりながら、よさを生かしている(相互性)	他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにする ・それぞれには特徴があり、多種多様に存在している(多様性) ・互いに関わりながら、よさを生かしている(相互性) ・物事には終わりがあり限りがある(有限性)

思考力、判断力、表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
・問題状況の中から課題を発見し、設定する ・解決の方法や手順を考える ・手段を選択し、情報を収集する ・必要な情報を収集し分析する ・相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現する・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとする	・問題状況の中から課題を発見し、設定する ・解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てる ・必要な情報を収集し分析する ・問題状況における事実や関係を把握し理解する ・多様な情報の中にある特徴を見付ける ・課題解決を目指して事象を比較したり、関連付けたりして考える ・相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現する ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとする

学びに向かう力、人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
・自らの生活の在り方を見直し、実践する・異なる意見や他者の考えを受け入れる ・他者と協同して課題を解決する・身の回りの環境との関わりを考えて生活する ・課題の解決に向けて地域活動に参加する	・目標を設定し、課題の解決に向けて行動する ・自らの生活の在り方を見直し、実践する ・自己の将来を考え、夢や希望をもつ ・異なる意見や他者の考えを受け入れる ・他者と協同して課題を解決する・身の回りの環境との関わりを考えて生活する ・課題の解決に向けて地域活動に参加する

内 容	学習対象	学習事項
第3学年	調べよう 自慢の江戸川区	・江戸川区について知ろう ・江戸川区の小松菜 ・江戸川区と昔の道具
第4学年	安心・安全なまちづくり 地域の環境について	・災害へ備えよう ・私たちのまちの防災を伝えよう ・環境を守るためにできることを考えよう(学校版もつたいない運動)
第5学年	育てようー大切なお米ー 福祉について調べよう	・お米について考えよう ・福祉について調べよう
第6学年	世界の国と仲良くしよう SDGsについて調べよう 自分探しの旅	・外国に住む人々の生活や文化について知ろう ・SDGsの取組について考えよう ・卒業研究を行い、目標を考えよう

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・3年生「地域」 ・4年生「防災」「環境」 ・5年生「農業体験」「福祉」 ・6年生「国際理解」「SDGs」 とし、各学年での関連を図る。	・児童の課題意識を連続発展させる 支援 ・個に応じた指導の工夫 ・協同的な学習活動の充実 ・教科との関連的な指導の重視 ・「学校版もつたいない運動」実施(4年)	・地域の教育力の人材活用 ・校内の連絡調整と支援体制の確立	・観点別学習状況を把握するための評価基準の設定 ・個人内評価の重視 ・授業分析による学習指導の評価